

## 反射検査 (27 問)

## はき国家試験 臨床医学各論

はき 28-59 頸椎椎間板ヘルニアについて正しいのはどれか。

1. 神経根症では上肢に腱反射の亢進を認める。
2. 神経根症では腹壁反射の消失を認める。
3. 脊髄症では下肢に腱反射の減弱を認める。
4. 脊髄症では下肢に病的反射を認める。

はき 27-59 脊椎疾患と所見の組み合わせで正しいのはどれか。

1. 頸椎椎間板ヘルニア ————— 間欠跛行
2. 頸椎後縦靭帯骨化症 ————— 膝蓋腱反射の減弱
3. 腰椎椎間板ヘルニア ————— アキレス腱反射の亢進
4. 腰部脊柱管狭窄症 ————— 会陰部のしびれ

はき 27-75 「50 歳の男性。主訴は体重減少。口渇、下肢の感覚鈍麻を認める。BMI30。空腹時血糖 180mg/dl、HbA1c89%。」本症例の神経学的所見で正しいのはどれか。

1. 感覚障害は左右非対称である。
2. 振動覚は正常である。
3. アキレス腱反射は亢進する。
4. 発汗異常を認める。

はき 26-58 頸椎症性神経根症でみられるのはどれか。

1. 握力低下
2. 腱反射亢進
3. 尿 閉
4. 病的反射

はき 23-63 脊椎・脊髄疾患と身体所見の組合せで正しいのはどれか。

1. 脊髄ショック ————— 痙性麻痺
2. 頸椎捻挫 ————— バレー・リュウ症状
3. L3-L4 椎間板ヘルニア ————— アキレス腱反射の低下
4. 腰部脊柱管狭窄症 ————— 鶏 歩

はき 23-65 頰椎症について正しいのはどれか。

1. 脊髄症型では一側の肩甲背部の疼痛が起こる。
2. 神経根型では深部反射亢進が起こる。
3. 関連痛型では手術療法が第 1 選択である。
4. 保存療法では頰椎牽引が有効である。

はき 21-69 L4-L5椎間板ヘルニアについて正しい記述はどれか。

1. 下肢症状は両側性に出現することが多い。
2. 好発年齢は60歳代である。
3. 下肢伸展挙上テストは陽性である。
4. 膝蓋腱反射が減弱する。

はき 21-81 末梢性顔面神経麻痺で見られる症状はどれか。

1. 嗅覚障害
2. 対光反射消失
3. 顔面知覚低下
4. 味覚障害

はき 20-78 「65 歳の男性。3 週間前に転倒し、前頭部を強打した。その時以後両上肢のしびれ感と歩行困難が出現している。」この患者の症状で誤っている記述はどれか。

1. 横隔膜呼吸が消失する。
2. 両上肢の脱力がみられる。
3. 膝蓋腱反射が亢進する。
4. 排尿困難がある。

はき 17-68 糖尿病患者に合併しやすいのはどれか。

1. 結膜出血
2. 甲状腺腫大
3. 下肢の知覚鈍麻
4. アキレス腱反射亢進

はき 17-78 「60 歳の男性。糖尿病発症から 15 年経過、現在腎機能は正常。収縮期血圧は 180mmHg、拡張期血圧は 90mmHg である。」最近下肢の冷感が出ている。最も優先度の高いスクリーニング検査はどれか。

1. 心電図
2. 頸動脈超音波検査
3. 足背動脈拍動の確認
4. 両側アキレス腱反射

はき 15-77 「40歳の女性。3か月前から歩行時のふらつき、めまいが出現した。また、2か月前から左の難聴、耳鳴りと左顔面の感覚が鈍いことを自覚している。四肢の筋力低下はない。」この患者でみられないのはどれか。

1. 指鼻試験は拙劣である。
2. つぎ足歩行は不能である。
3. 角膜反射は消失する。
4. 深部腱反射は亢進する。

はき 15-79 「25歳の男性。1年前から飲酒量が増加し、食事回数は減少した。1か月前から下腿浮腫、息切れ、膝蓋腱反射の消失がみられ、今朝から意識消失もみられるようになった。」この意識障害について最も考えられるのはどれか。

1. ゲルストマン症候群
2. ギランバレー症候群
3. ウェルニッケ脳症
4. ペラグラ

はき 15-80 「25歳の男性。1年前から飲酒量が増加し、食事回数は減少した。1か月前から下腿浮腫、息切れ、膝蓋腱反射の消失がみられ、今朝から意識消失もみられるようになった。」原因と考えられるのはどれか。

1. ビタミンB<sub>1</sub>欠乏
2. ニコチン酸欠乏
3. ウイルス感染
4. 脳腫瘍

はき 12-75 ビタミン欠乏で膝蓋腱反射減弱をきたすのはどれか。

1. ビタミンA
2. ビタミンB<sub>1</sub>
3. ビタミンC
4. ビタミンE

はき 9-73 疾患と症状との組合せで正しいのはどれか。

1. 単純ヘルペス脳炎 — 側頭葉症状
2. ポリオ — 痙性単麻痺
3. 脊髄瘍 — 膝蓋腱反射亢進
4. 髄膜炎 — ロンベルグ徴候

はき 9-81 低カリウム血症の症状でないのはどれか。

1. 腱反射亢進
2. 四肢麻痺
3. 腹部膨満
4. 脱力感

はき 8-71 ギラン・バレー症候群で誤っているのはどれか。

1. 髄液タンパク減少
2. 四肢脱力
3. 深部反射減弱
4. 顔面神経麻痺

はき 8-80 第4-5腰椎椎間板ヘルニアについて正しいのはどれか。

1. ラセーグテスト陰性
2. 膝蓋腱反射正常
3. 下腿後面部の感覚鈍麻
4. 大腿四頭筋萎縮

はき 8-86 筋萎縮性側索硬化症でみられない症候はどれか。

1. 線維束攣縮
2. 深部反射亢進
3. 筋力低下
4. 不随意運動

はき 7-73 ラムゼイハント症候群で正しい記述はどれか。

1. 顔面神経麻痺が起こる。
2. 深部反射が亢進する。
3. 呼吸筋麻痺が起こる。
4. 味覚は正常である。

はき 7-85 神経疾患と所見との組合せで正しいのはどれか。

- |                 |            |
|-----------------|------------|
| 1. 多発性硬化症       | — 髄液タンパク減少 |
| 2. 多発性神経炎       | — 痙性麻痺     |
| 3. 脊髄瘍          | — 腱反射亢進    |
| 4. シャイ・ドレーガー症候群 | — 起立性低血圧   |

はき 5-78 第4・5腰椎間椎間板ヘルニアの症状で正しいのはどれか。

1. 膝蓋腱反射消失
2. ラセーグ徴候陽性
3. アキレス腱反射消失
4. 母指底屈力低下

はき 5-88 筋萎縮性側索硬化症の症状で誤っているのはどれか。【解答なし】

1. 深部反射の減弱
2. 線維束性攣縮
3. 嚙下障害
4. バビンスキー反射陽性

はき 4-83 疾患と症状との組合せで正しいのはどれか。

1. 変形性関節症 — 安静時痛
2. 坐骨神経痛 — 腱反射亢進
3. 脊柱管狭窄症 — 間欠性跛行
4. 胸髄損傷 — 四肢麻痺

はき 4-84 症状と原因との組合せで誤っているのはどれか。

1. 腱反射消失 — 錐体路障害
2. 知能障害 — 大脳皮質萎縮
3. 失語症 — 高次脳機能障害
4. 筋萎縮 — 前角細胞変性

はき 2-80 L5 - S1 椎間板ヘルニアの所見で誤っているのはどれか。

1. ラセーグ徴候陽性
2. 膝蓋腱反射消失
3. アキレス腱反射消失
4. 腓腹筋筋力低下

---

反射検査 (27 問)

はき 国家試験 臨床医学総論

---

はき 25-51 深部反射はどれか。

1. 角膜反射
2. 足底反射
3. 腹壁反射
4. 下顎反射

はき 24-45 対光反射の遠心路はどれか。

1. 動眼神経
2. 三叉神経
3. 外転神経
4. 顔面神経

はき 24-54 自律神経反射はどれか。

1. バビンスキー反射
2. ホフマン反射
3. モロー反射
4. アシュネル反射

はき 23-49 表在反射でないのはどれか。

1. 角膜反射
2. 下顎反射
3. 腹壁反射
4. 肛門反射

はき 21-57 頸椎症性脊髄症について誤っている記述はどれか。

1. 痙性歩行がみられる。
2. 手指巧緻運動障害を認める。
3. 手内在筋の萎縮を認める。
4. 深部腱反射が減弱する。

はき 16-59 死の三徴候に含まれないのはどれか。

1. 体温低下
2. 呼吸停止
3. 対光反射消失
4. 心停止

はき 14-60 皮膚反射でないのはどれか。

1. 下顎反射
2. 腹壁反射
3. 拳拏筋反射
4. 肛門反射

はき 14-62 錐体外路徴候はどれか。

1. 病的反射
2. 痙縮
3. 運動麻痺
4. 固縮

はき 11-58 疲労の所見でないのはどれか。

1. 注意集中力の低下
2. 倦怠感の自覚
3. 作業能率の低下
4. 反射閾値の低下

はき 11-67 反射について正しい組合せはどれか。

1. 足底反射 — 深部反射
2. 腹壁反射 — 皮膚反射
3. アシェネル反射 — 病的反射
4. 下顎反射 — 粘膜反射

はき 10-57 高齢者がもちで窒息をおこしやすい原因で誤っているのはどれか。

1. 歯の喪失
2. 咳嗽反射の亢進
3. 嚥下筋の筋力低下
4. 唾液分泌の減少

はき 10-58 副交感神経が関与しないのはどれか。

1. 角膜反射
2. 対光反射
3. 輻輳調節反射
4. アシュネル反射

はき 10-59 筋原性筋萎縮でみられるのはどれか。

1. 線維束攣縮
2. 深部反射の亢進
3. 血清クレアチンキナーゼの上昇
4. 深部感覚障害

はき 8-59 表在反射でないのはどれか。

1. 角膜反射
2. 咽頭反射
3. 下顎反射
4. 挙睾筋反射

はき 8-68 正しい組合せはどれか。

1. 痙性麻痺 — 折りたたみナイフ現象
2. 弛緩性麻痺 — 鉛管現象
3. 筋強剛（固縮） — 反射亢進
4. 痙直 — 振り子様運動

はき 7-60 下位運動ニューロン障害で誤っている徴候はどれか。

1. 弛緩性麻痺
2. 深部反射の低下
3. 筋萎縮
4. 病的反射

はき 7-67 錐体路障害の症候で適切でないのはどれか。

1. 筋緊張亢進
2. 痙性麻痺
3. 病的反射出現
4. 深部反射減弱

はき 6-59 下位運動ニューロン障害で正しいのはどれか。

1. 腱反射の亢進
2. 筋萎縮
3. 不随意運動
4. 感覚障害

はき 6-61 反射と徴候との組合せで誤っているのはどれか。

1. 病的反射 — 錐体路徴候
2. 頸動脈反射 — 血圧下降
3. 輻輳反射 — 瞳孔散大
4. 対光反射 — 瞳孔縮小

はき 5-60 反射と徴候との組合せで適切でないのはどれか。

1. バビンスキー反射 — 痙性歩行
2. 頸動脈洞反射 — 徐脈
3. 輻輳反射 — 散瞳
4. 対光反射 — 縮瞳

はき 5-67 錐体路障害の症状で適切なのはどれか。

1. 病的反射の出現
2. ロンベルグ徴候
3. 線維束性攣縮
4. 深部反射の減弱

はき 5-68 深部反射とその中枢との組合せで誤っているのはどれか。

1. 上腕二頭筋反射 — C5-C6
2. 上腕三頭筋反射 — Th1-Th2
3. 膝蓋腱反射 — L2-L4
4. アキレス腱反射 — S1-S2

はき 4-61 反射について誤っている組合せはどれか。

1. バビンスキー反射 — 病的反射
2. 膝蓋腱反射 — 深部反射
3. 挙拳筋反射 — 表在反射
4. トレムナー反射 — 自律神経反射

はき 3-65 アキレス腱反射が消失する椎間板ヘルニアの部位はどれか。

1. L2-L3間
2. L3-L4間
3. L4-L5間
4. L5-S1間

はき 3-66 反射と病態との組合せで誤っているのはどれか。

1. 深部反射亢進 — 多発性神経炎
2. 病的反射 — 錐体路障害
3. 深部反射減弱 — 筋ジストロフィー
4. 姿勢反射異常 — 脳性麻痺

はき 2-66 膝蓋腱反射について正しい記述はどれか。

1. 表在反射の一つである。
2. 反射中枢は脊髄にある。
3. ビタミンD欠乏症で亢進する。
4. 坐骨神経の疾患で減弱する。

はき 1-60 深部腱反射が亢進するのはどれか。

1. 神経根障害
2. 末梢神経障害
3. 錐体路障害
4. 脊髄前角障害

---

## 反射検査 (15 問)

## あまし国家試験 臨床医学各論

---

あ 27-57 多発ニューロパチーについて正しいのはどれか。

1. 運動障害が優位である。
2. デルマトームに沿った感覚障害を認める。
3. 深部腱反射が亢進する。
4. アルコール多飲が原因となる。

あ 25-55 頰椎症性神経根症について正しいのはどれか。

1. 痙性麻痺を認める。
2. 膀胱直腸障害を認める。
3. 上肢腱反射の減弱を認める。
4. 病的反射を認める。

あ 25-75 「75 歳の男性。病院を受診し、脳梗塞による軽い片麻痺と診断された。」

麻痺側で亢進する反射はどれか。

1. 角膜反射
2. 挙睾筋反射
3. 腹壁反射
4. アキレス腱反射

あ 22-67 第 4-5 腰椎椎間板ヘルニアの所見として正しいのはどれか。

1. アキレス腱反射の亢進
2. 膝蓋腱反射の消失
3. 下腿内側の感覚障害
4. 母趾背屈力の低下

あ 22-88 頰椎症性脊髄症について正しいのはどれか。

1. 痙性麻痺は認めない。
2. 手指巧緻運動障害を認める。
3. 膀胱直腸障害は認めない。
4. 下肢腱反射が減弱する。

あ 20-72 「50歳の女性。無気力、易疲労感を主訴として来院。皮膚は乾燥し、顔面・下腿に明らかな圧痕を残さない浮腫がある。舌肥大と嘔声を認め、腱反射は遅延していた。」

この症状の原因はどれか。

1. 心不全
2. 腎不全
3. リンパ循環障害
4. 甲状腺機能低下

あ 20-73 「50歳の女性。無気力、易疲労感を主訴として来院。皮膚は乾燥し、顔面・下腿に明らかな圧痕を残さない浮腫がある。舌肥大と嘔声を認め、腱反射は遅延していた。」

この病変臓器を直接刺激する物質を放出するのはどれか。

1. 大脳皮質
2. 視床下部
3. 下垂体
4. 松果体

あ 15-71 糖尿病性神経障害でみられるのはどれか。

1. 振動覚低下
2. ブルジンスキー徴候
3. バビンスキー反射
4. 筋強剛

あ 15-78 筋萎縮性側索硬化症でみられないのはどれか。

1. 母指球筋の萎縮
2. 筋線維束性れん縮
3. 膀胱直腸障害
4. 深部腱反射亢進

あ 14-90 ギラン・バレー症候群について誤っている記述はどれか。

1. 脱髄性疾患である。
2. 四肢の脱力をきたす。
3. 深部腱反射は低下する。
4. 寛解と再燃を繰り返す。

あ 12-82 糖尿病性神経障害でみられないのはどれか。

1. 深部腱反射亢進
2. 勃起障害 (ED)
3. 起立性低血圧
4. 筋萎縮

あ 10-91 腰椎椎間板ヘルニアで正しい記述はどれか。

1. 高齢者に好発する。
2. 好発部位はL4-L5間である。
3. バビンスキー反射が出現する。
4. 背筋の緊張が低下する。

あ 7-91 腰部椎間板ヘルニアの症状で誤っているのはどれか。

1. 放散痛
2. 解離性知覚障害
3. 筋萎縮
4. 深部反射低下

あ 6-90 腰椎椎間板ヘルニアについて誤っている記述はどれか。

1. L<sub>5</sub>-S<sub>1</sub>間のヘルニアではラセーグテストは陽性である。
2. L<sub>2</sub>-L<sub>3</sub>間のヘルニアでは大腿神経伸展テストは陽性である。
3. L<sub>5</sub>-S<sub>1</sub>間のヘルニアではアキレス腱反射は正常である。
4. 坐骨神経痛は臀部から足部にかけて放散する。

あ 3-85 急性虫垂炎について正しい記述はどれか。

1. 化膿性炎症である。
2. バビンスキー反射が陽性となる。
3. 副腎皮質ホルモンが極めて有効である。
4. 赤血球増多を伴う。

あ 28-45 クローヌスについて正しいのはどれか。

1. 強い痛みを伴う。
2. 錐体外路徴候の一種である。
3. 不規則な筋収縮である。
4. 著明な腱反射亢進でみられる。

あ 25-51 自律神経反射はどれか。

1. 足底反射
2. 下顎反射
3. 頚動脈洞反射
4. アキレス腱反射

あ 23-47 下位運動ニューロン障害でみられるのはどれか。

1. 筋萎縮
2. 痙性麻痺
3. 深部反射亢進
4. 病的反射陽性

あ 22-58 自律神経反射はどれか。

1. 対光反射
2. 角膜反射
3. 腹壁反射
4. 膝蓋腱反射

あ 21-66 上肢の病的反射はどれか。

1. チャドック反射
2. トレムナー反射
3. オッペンハイム反射
4. シェーフアー反射

あ 19-66 アーガイル・ロバートソン徴候に含まれるのはどれか。

1. 眼瞼の下垂
2. 眼球運動の障害
3. 対光反射の障害
4. 輻輳反射の障害

あ 19-67 ギランバレー症候群で正しい記述はどれか。

1. 中枢神経障害である。
2. 髄液蛋白質の上昇を認める。
3. 腱反射は亢進する。
4. 呼吸筋麻痺はない。

あ 18-57 上位運動ニューロン徴候でないのはどれか。

1. 痙性麻痺
2. 筋萎縮
3. 病的反射陽性
4. 深部腱反射亢進

あ 17-58 表在反射でないのはどれか。

1. 咽頭反射
2. 下顎反射
3. 腹壁反射
4. 挙睾筋反射

あ 14-65 病巣と神経学的所見との組合せで正しいのはどれか。

1. 錐体路 ————— 足クローヌス
2. 小 脳 ————— 深部腱反射亢進
3. 脊髄神経根 ———— 手袋靴下感覚障害
4. 視 床 ————— 認知障害

あ 14-66 上肢の病的反射はどれか。

1. チャドック反射
2. ワルテンベルグ反射
3. オッペンハイム反射
4. バビンスキー反射

あ 13-76 運動機能障害について誤っている組合せはどれか。

1. 錐体路障害 ————— 病的反射
2. 錐体外路障害 ————— 不随意運動
3. 下位運動ニューロン障害 ———— 筋萎縮
4. 神経筋接合部障害 ————— 深部腱反射亢進

あ 9-68 上位運動ニューロン障害の徴候はどれか。

1. 筋萎縮
2. 病的反射出現
3. 深部反射低下
4. 筋緊張低下

あ 9-69 理学的検査で誤っている組合せはどれか。

1. 瞳孔 ————— 輻輳反射
2. 肺 ————— ラ音
3. 心臓 ————— グル音
4. 腹部 ————— ブルンベルグ徴候

あ 7-66 表在反射はどれか。

1. 対光反射
2. アシュネル反射
3. 下顎反射
4. 腹壁反射

あ 7-68 病的反射ででないのはどれか。

1. バビンスキー反射
2. ホフマン反射
3. アシュネル反射
4. チャドック反射

あ 5-75 病的反射ででないのはどれか。

1. アシュネル
2. チャドック
3. バビンスキー
4. オッペンハイム

あ 4-65 生命徴候（バイタルサイン）の検査項目として誤っているのはどれか。

1. 体温
2. 脈拍数
3. 呼吸数
4. 瞳孔対光反射

あ 2-70 生理的反射はどれか。

1. オッペンハイム反射
2. バビンスキー反射
3. 膝蓋腱反射
4. チャドック反射

あ 2-76 アキレス腱反射の反射中枢はどの脊髄分節か。

1. C<sub>3, 4</sub>
2. C<sub>5, 6</sub>
3. L<sub>2, 3</sub>
4. S<sub>1, 2</sub>

## 反射検査 (27 問)

## はき国家試験 臨床医学各論

はき 28-59 頸椎椎間板ヘルニアについて正しいのはどれか。

1. 神経根症では上肢に腱反射の亢進を認める。
2. 神経根症では腹壁反射の消失を認める。
3. 脊髄症では下肢に腱反射の減弱を認める。
4. 脊髄症では下肢に病的反射を認める。

はき 27-59 脊椎疾患と所見の組み合わせで正しいのはどれか。

1. 頸椎椎間板ヘルニア ————— 間欠跛行
2. 頸椎後縦靭帯骨化症 ————— 膝蓋腱反射の減弱
3. 腰椎椎間板ヘルニア ————— アキレス腱反射の亢進
4. 腰部脊柱管狭窄症 ————— 会陰部のしびれ

はき 27-75 「50 歳の男性。主訴は体重減少。口渇、下肢の感覚鈍麻を認める。BMI30。空腹時血糖 180mg/dl、HbA1c89%。」本症例の神経学的所見で正しいのはどれか。

1. 感覚障害は左右非対称である。
2. 振動覚は正常である。
3. アキレス腱反射は亢進する。
4. 発汗異常を認める。

はき 26-58 頸椎症性神経根症でみられるのはどれか。

1. 握力低下
2. 腱反射亢進
3. 尿 閉
4. 病的反射

はき 23-63 脊椎・脊髄疾患と身体所見の組合せで正しいのはどれか。

1. 脊髄ショック ————— 痙性麻痺
2. 頸椎捻挫 ————— バレー・リュウ症状
3. L3-L4 椎間板ヘルニア ————— アキレス腱反射の低下
4. 腰部脊柱管狭窄症 ————— 鶏 歩

はき 23-65 頰椎症について正しいのはどれか。

1. 脊髄症型では一側の肩甲背部の疼痛が起こる。
2. 神経根型では深部反射亢進が起こる。
3. 関連痛型では手術療法が第 1 選択である。
4. 保存療法では頰椎牽引が有効である。

はき 21-69 L4-L5椎間板ヘルニアについて正しい記述はどれか。

1. 下肢症状は両側性に出現することが多い。
2. 好発年齢は60歳代である。
3. 下肢伸展挙上テストは陽性である。
4. 膝蓋腱反射が減弱する。

はき 21-81 末梢性顔面神経麻痺でみられる症状はどれか。

1. 嗅覚障害
2. 対光反射消失
3. 顔面知覚低下
4. 味覚障害

はき 20-78 「65歳の男性。3週間前に転倒し、前頭部を強打した。その時以後両上肢のしびれ感と歩行困難が出現している。」この患者の症状で誤っている記述はどれか。

1. 横隔膜呼吸が消失する。
2. 両上肢の脱力がみられる。
3. 膝蓋腱反射が亢進する。
4. 排尿困難がある。

はき 17-68 糖尿病患者に合併しやすいのはどれか。

1. 結膜出血
2. 甲状腺腫大
3. 下肢の知覚鈍麻
4. アキレス腱反射亢進

はき 17-78 「60歳の男性。糖尿病発症から15年経過、現在腎機能は正常。収縮期血圧は180mmHg、拡張期血圧は90mmHgである。」最近下肢の冷感が出ている。最も優先度の高いスクリーニング検査はどれか。

1. 心電図
2. 頸動脈超音波検査
3. 足背動脈拍動の確認
4. 両側アキレス腱反射

はき 15-77 「40歳の女性。3か月前から歩行時のふらつき、めまいが出現した。また、2か月前から左の難聴、耳鳴りと左顔面の感覚が鈍いことを自覚している。四肢の筋力低下はない。」この患者でみられないのはどれか。

1. 指鼻試験は拙劣である。
2. つぎ足歩行は不能である。
3. 角膜反射は消失する。
4. 深部腱反射は亢進する。

はき 15-79 「25歳の男性。1年前から飲酒量が増加し、食事回数は減少した。1か月前から下腿浮腫、息切れ、膝蓋腱反射の消失がみられ、今朝から意識消失もみられるようになった。」この意識障害について最も考えられるのはどれか。

1. ゲルストマン症候群
2. ギランバレー症候群
3. ウェルニッケ脳症
4. ペラグラ

はき 15-80 「25歳の男性。1年前から飲酒量が増加し、食事回数は減少した。1か月前から下腿浮腫、息切れ、膝蓋腱反射の消失がみられ、今朝から意識消失もみられるようになった。」原因と考えられるのはどれか。

1. ビタミンB<sub>1</sub>欠乏
2. ニコチン酸欠乏
3. ウイルス感染
4. 脳腫瘍

はき 12-75 ビタミン欠乏で膝蓋腱反射減弱をきたすのはどれか。

1. ビタミンA
2. ビタミンB<sub>1</sub>
3. ビタミンC
4. ビタミンE

はき 9-73 疾患と症状との組合せで正しいのはどれか。

1. 単純ヘルペス脳炎 — 側頭葉症状
2. ポリオ — 痙性単麻痺
3. 脊髄瘍 — 膝蓋腱反射亢進
4. 髄膜炎 — ロンベルグ徴候

はき 9-81 低カリウム血症の症状でないのはどれか。

1. 腱反射亢進
2. 四肢麻痺
3. 腹部膨満
4. 脱力感

はき 8-71 ギラン・バレー症候群で誤っているのはどれか。

1. 髄液タンパク減少
2. 四肢脱力
3. 深部反射減弱
4. 顔面神経麻痺

はき 8-80 第4-5腰椎椎間板ヘルニアについて正しいのはどれか。

1. ラセーグテスト陰性
2. 膝蓋腱反射正常
3. 下腿後面部の感覚鈍麻
4. 大腿四頭筋萎縮

はき 8-86 筋萎縮性側索硬化症でみられない症候はどれか。

1. 線維束攣縮
2. 深部反射亢進
3. 筋力低下
4. 不随意運動

はき 7-73 ラムゼイハント症候群で正しい記述はどれか。

1. 顔面神経麻痺が起こる。
2. 深部反射が亢進する。
3. 呼吸筋麻痺が起こる。
4. 味覚は正常である。

はき 7-85 神経疾患と所見との組合せで正しいのはどれか。

1. 多発性硬化症 — 髄液タンパク減少
2. 多発性神経炎 — 痙性麻痺
3. 脊髄瘍 — 腱反射亢進
4. シャイ・ドレーガー症候群 — 起立性低血圧

はき 5-78 第4・5腰椎間椎間板ヘルニアの症状で正しいのはどれか。

1. 膝蓋腱反射消失
2. **ラセーグ徴候陽性**
3. アキレス腱反射消失
4. 母指底屈力低下

はき 5-88 筋萎縮性側索硬化症の症状で誤っているのはどれか。【解答なし】

1. 深部反射の減弱
2. 線維束性攣縮
3. 嚙下障害
4. **バビンスキー反射陽性**

はき 4-83 疾患と症状との組合せで正しいのはどれか。

1. 変形性関節症 — 安静時痛
2. 坐骨神経痛 — 腱反射亢進
3. **脊柱管狭窄症 — 間欠性跛行**
4. 胸髄損傷 — 四肢麻痺

はき 4-84 症状と原因との組合せで誤っているのはどれか。

1. **腱反射消失 — 錐体路障害**
2. 知能障害 — 大脳皮質萎縮
3. 失語症 — 高次脳機能障害
4. 筋萎縮 — 前角細胞変性

はき 2-80 L5 - S1 椎間板ヘルニアの所見で誤っているのはどれか。

1. ラセーグ徴候陽性
2. **膝蓋腱反射消失**
3. アキレス腱反射消失
4. 腓腹筋筋力低下

反射検査 (27 問)

はき 国家試験 臨床医学総論

はき 25-51 深部反射はどれか。

1. 角膜反射
2. 足底反射
3. 腹壁反射
4. **下顎反射**

はき 24-45 対光反射の遠心路はどれか。

1. 動眼神経
2. 三叉神経
3. 外転神経
4. 顔面神経

はき 24-54 自律神経反射はどれか。

1. バビンスキー反射
2. ホフマン反射
3. モロー反射
4. アシュネル反射

はき 23-49 表在反射でないのはどれか。

1. 角膜反射
2. 下顎反射
3. 腹壁反射
4. 肛門反射

はき 21-57 頸椎症性脊髄症について誤っている記述はどれか。

1. 痙性歩行がみられる。
2. 手指巧緻運動障害を認める。
3. 手内在筋の萎縮を認める。
4. 深部腱反射が減弱する。

はき 16-59 死の三徴候に含まれないのはどれか。

1. 体温低下
2. 呼吸停止
3. 対光反射消失
4. 心停止

はき 14-60 皮膚反射でないのはどれか。

1. 下顎反射
2. 腹壁反射
3. 拳拏筋反射
4. 肛門反射

はき 14-62 錐体外路徴候はどれか。

1. 病的反射
2. 痙縮
3. 運動麻痺
4. 固縮

はき 11-58 疲労の所見でないのはどれか。

1. 注意集中力の低下
2. 倦怠感の自覚
3. 作業能率の低下
4. 反射閾値の低下

はき 11-67 反射について正しい組合せはどれか。

1. 足底反射 — 深部反射
2. 腹壁反射 — 皮膚反射
3. アシェネル反射 — 病的反射
4. 下顎反射 — 粘膜反射

はき 10-57 高齢者がもちで窒息をおこしやすい原因で誤っているのはどれか。

1. 歯の喪失
2. 咳嗽反射の亢進
3. 嚥下筋の筋力低下
4. 唾液分泌の減少

はき 10-58 副交感神経が関与しないのはどれか。

1. 角膜反射
2. 対光反射
3. 輻輳調節反射
4. アシュネル反射

はき 10-59 筋原性筋萎縮でみられるのはどれか。

1. 線維束攣縮
2. 深部反射の亢進
3. 血清クレアチンキナーゼの上昇
4. 深部感覚障害

はき 8-59 表在反射でないのはどれか。

1. 角膜反射
2. 咽頭反射
3. 下顎反射
4. 挙拳筋反射

はき 8-68 正しい組合せはどれか。

1. 痙性麻痺 — 折りたたみナイフ現象
2. 弛緩性麻痺 — 鉛管現象
3. 筋強剛（固縮） — 反射亢進
4. 痙直 — 振り子様運動

はき 7-60 下位運動ニューロン障害で誤っている徴候はどれか。

1. 弛緩性麻痺
2. 深部反射の低下
3. 筋萎縮
4. 病的反射

はき 7-67 錐体路障害の症候で適切でないのはどれか。

1. 筋緊張亢進
2. 痙性麻痺
3. 病的反射出現
4. 深部反射減弱

はき 6-59 下位運動ニューロン障害で正しいのはどれか。

1. 腱反射の亢進
2. 筋萎縮
3. 不随意運動
4. 感覚障害

はき 6-61 反射と徴候との組合せで誤っているのはどれか。

1. 病的反射 — 錐体路徴候
2. 頸動脈反射 — 血圧下降
3. 輻輳反射 — 瞳孔散大
4. 対光反射 — 瞳孔縮小

はき 5-60 反射と徴候との組合せで適切でないのはどれか。

1. バビンスキー反射 — 痙性歩行
2. 頸動脈洞反射 — 徐脈
3. 輻輳反射 — 散瞳
4. 対光反射 — 縮瞳

はき 5-67 錐体路障害の症状で適切なのはどれか。

1. 病的反射の出現
2. ロンベルグ徴候
3. 線維束性攣縮
4. 深部反射の減弱

はき 5-68 深部反射とその中枢との組合せで誤っているのはどれか。

1. 上腕二頭筋反射 — C5-C6
2. 上腕三頭筋反射 — Th1-Th2
3. 膝蓋腱反射 — L2-L4
4. アキレス腱反射 — S1-S2

はき 4-61 反射について誤っている組合せはどれか。

1. バビンスキー反射 — 病的反射
2. 膝蓋腱反射 — 深部反射
3. 挙拳筋反射 — 表在反射
4. トレムナー反射 — 自律神経反射

はき 3-65 アキレス腱反射が消失する椎間板ヘルニアの部位はどれか。

1. L2-L3間
2. L3-L4間
3. L4-L5間
4. L5-S1間

はき 3-66 反射と病態との組合せで誤っているのはどれか。

1. 深部反射亢進 — 多発性神経炎
2. 病的反射 — 錐体路障害
3. 深部反射減弱 — 筋ジストロフィー
4. 姿勢反射異常 — 脳性麻痺

はき 2-66 膝蓋腱反射について正しい記述はどれか。

1. 表在反射の一つである。
2. 反射中枢は脊髄にある。
3. ビタミンD欠乏症で亢進する。
4. 坐骨神経の疾患で減弱する。

はき 1-60 深部腱反射が亢進するのはどれか。

1. 神経根障害
2. 末梢神経障害
3. 錐体路障害
4. 脊髄前角障害

---

## 反射検査 (15 問)

## あまし国家試験 臨床医学各論

---

あ 27-57 多発ニューロパチーについて正しいのはどれか。

1. 運動障害が優位である。
2. デルマトームに沿った感覚障害を認める。
3. 深部腱反射が亢進する。
4. アルコール多飲が原因となる。

あ 25-55 頰椎症性神経根症について正しいのはどれか。

1. 痙性麻痺を認める。
2. 膀胱直腸障害を認める。
3. 上肢腱反射の減弱を認める。
4. 病的反射を認める。

あ 25-75 「75 歳の男性。病院を受診し、脳梗塞による軽い片麻痺と診断された。」

麻痺側で亢進する反射はどれか。

1. 角膜反射
2. 挙睾筋反射
3. 腹壁反射
4. アキレス腱反射

あ 22-67 第 4-5 腰椎椎間板ヘルニアの所見として正しいのはどれか。

1. アキレス腱反射の亢進
2. 膝蓋腱反射の消失
3. 下腿内側の感覚障害
4. 母趾背屈力の低下

あ 22-88 頰椎症性脊髄症について正しいのはどれか。

1. 痙性麻痺は認めない。
2. 手指巧緻運動障害を認める。
3. 膀胱直腸障害は認めない。
4. 下肢腱反射が減弱する。

あ 20-72 「50歳の女性。無気力、易疲労感を主訴として来院。皮膚は乾燥し、顔面・下腿に明らかな圧痕を残さない浮腫がある。舌肥大と嘔声を認め、腱反射は遅延していた。」

この症状の原因はどれか。

1. 心不全
2. 腎不全
3. リンパ循環障害
4. 甲状腺機能低下

あ 20-73 「50歳の女性。無気力、易疲労感を主訴として来院。皮膚は乾燥し、顔面・下腿に明らかな圧痕を残さない浮腫がある。舌肥大と嘔声を認め、腱反射は遅延していた。」

この病変臓器を直接刺激する物質を放出するのはどれか。

1. 大脳皮質
2. 視床下部
3. 下垂体
4. 松果体

あ 15-71 糖尿病性神経障害でみられるのはどれか。

1. 振動覚低下
2. ブルジンスキー徴候
3. バビンスキー反射
4. 筋強剛

あ 15-78 筋萎縮性側索硬化症でみられないのはどれか。

1. 母指球筋の萎縮
2. 筋線維束性れん縮
3. 膀胱直腸障害
4. 深部腱反射亢進

あ 14-90 ギラン・バレー症候群について誤っている記述はどれか。

1. 脱髄性疾患である。
2. 四肢の脱力をきたす。
3. 深部腱反射は低下する。
4. 寛解と再燃を繰り返す。

あ 12-82 糖尿病性神経障害でみられないのはどれか。

1. 深部腱反射亢進
2. 勃起障害 (ED)
3. 起立性低血圧
4. 筋萎縮

あ 10-91 腰椎椎間板ヘルニアで正しい記述はどれか。

1. 高齢者に好発する。
2. 好発部位はL4-L5間である。
3. バビンスキー反射が出現する。
4. 背筋の緊張が低下する。

あ 7-91 腰部椎間板ヘルニアの症状で誤っているのはどれか。

1. 放散痛
2. 解離性知覚障害
3. 筋萎縮
4. 深部反射低下

あ 6-90 腰椎椎間板ヘルニアについて誤っている記述はどれか。

1. L<sub>5</sub>-S<sub>1</sub>間のヘルニアではラセーグテストは陽性である。
2. L<sub>2</sub>-L<sub>3</sub>間のヘルニアでは大腿神経伸展テストは陽性である。
3. L<sub>5</sub>-S<sub>1</sub>間のヘルニアではアキレス腱反射は正常である。
4. 坐骨神経痛は臀部から足部にかけて放散する。

あ 3-85 急性虫垂炎について正しい記述はどれか。

1. 化膿性炎症である。
2. バビンスキー反射が陽性となる。
3. 副腎皮質ホルモンが極めて有効である。
4. 赤血球増多を伴う。

あ 28-45 クローヌスについて正しいのはどれか。

1. 強い痛みを伴う。
2. 錐体外路徴候の一種である。
3. 不規則な筋収縮である。
4. 著明な腱反射亢進で見られる。

あ 25-51 自律神経反射はどれか。

1. 足底反射
2. 下顎反射
3. 頰動脈洞反射
4. アキレス腱反射

あ 23-47 下位運動ニューロン障害で見られるのはどれか。

1. 筋萎縮
2. 痙性麻痺
3. 深部反射亢進
4. 病的反射陽性

あ 22-58 自律神経反射はどれか。

1. 対光反射
2. 角膜反射
3. 腹壁反射
4. 膝蓋腱反射

あ 21-66 上肢の病的反射はどれか。

1. チャドック反射
2. トレムナー反射
3. オッペンハイム反射
4. シェーフアー反射

あ 19-66 アーガイル・ロバートソン徴候に含まれるのはどれか。

1. 眼瞼の下垂
2. 眼球運動の障害
3. 対光反射の障害
4. 輻輳反射の障害

あ 19-67 ギランバレー症候群で正しい記述はどれか。

1. 中枢神経障害である。
2. 髄液蛋白質の上昇を認める。
3. 腱反射は亢進する。
4. 呼吸筋麻痺はない。

あ 18-57 上位運動ニューロン徴候でないのはどれか。

1. 痙性麻痺
2. 筋萎縮
3. 病的反射陽性
4. 深部腱反射亢進

あ 17-58 表在反射でないのはどれか。

1. 咽頭反射
2. 下顎反射
3. 腹壁反射
4. 挙睾筋反射

あ 14-65 病巣と神経学的所見との組合せで正しいのはどれか。

1. 錐体路 ————— 足クローヌス
2. 小 脳 ————— 深部腱反射亢進
3. 脊髄神経根 ————— 手袋靴下感覚障害
4. 視 床 ————— 認知障害

あ 14-66 上肢の病的反射はどれか。

1. チャドック反射
2. ワルテンベルグ反射
3. オッペンハイム反射
4. バビンスキー反射

あ 13-76 運動機能障害について誤っている組合せはどれか。

1. 錐体路障害 ————— 病的反射
2. 錐体外路障害 ————— 不随意運動
3. 下位運動ニューロン障害 ————— 筋萎縮
4. 神経筋接合部障害 ————— 深部腱反射亢進

あ 9-68 上位運動ニューロン障害の徴候はどれか。

1. 筋萎縮
2. 病的反射出現
3. 深部反射低下
4. 筋緊張低下

あ 9-69 理学的検査で誤っている組合せはどれか。

1. 瞳孔 ————— 輻輳反射
2. 肺 ————— ラ音
3. 心臓 ————— グル音
4. 腹部 ————— ブルンベルグ徴候

あ 7-66 表在反射はどれか。

1. 対光反射
2. アシュネル反射
3. 下顎反射
4. 腹壁反射

あ 7-68 病的反射でないのはどれか。

1. バビンスキー反射
2. ホフマン反射
3. アシュネル反射
4. チャドック反射

あ 5-75 病的反射でないのはどれか。

1. アシュネル
2. チャドック
3. バビンスキー
4. オッペンハイム

あ 4-65 生命徴候（バイタルサイン）の検査項目として誤っているのはどれか。

1. 体温
2. 脈拍数
3. 呼吸数
4. 瞳孔対光反射

あ 2-70 生理的反射はどれか。

1. オッペンハイム反射
2. バビンスキー反射
3. 膝蓋腱反射
4. チャドック反射

あ 2-76 アキレス腱反射の反射中枢はどの脊髄分節か。

1. C<sub>3, 4</sub>
2. C<sub>5, 6</sub>
3. L<sub>2, 3</sub>
4. S<sub>1, 2</sub>